

一般質問

9月16日、17日、18日

※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。
※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

●母谷龍典

(自民党・市民クラブ・佐伯区)

●平野太祐

(自民党・保守クラブ・西区)

●西田浩

(公明党・安佐北区)

●桑田恭子

(市政改革ネットワーク・佐伯区)

●藤井敏子

(日本共産党・安佐南区)

●山内正晃

(市民連合・安佐北区)

●黒い雨

の訴訟

●有機農業の推進と学校給食

●気候非常事態宣言と南工場の建て替え

●指定学校変更許可基準の改正

●平和行政の推進

●新型コロナウイルス感染症への備え

県市の負担割合は

問 サッカースタジアム建設の

県市の負担割合については、どのような調整状況にあるのか。また、今後どのように県との合意に向けて取り組んでいくのか。

平和発信はどうするか

問 サッカースタジアムを新たな平和発信の拠点とするために、どのように取り組んでいくことを考えているのか。

答 基本計画の中で「平和記念公園に隣接するという特性をいかし、サッカーを通じた国際交流だけでなく、平和や広島のスポートの歴史などについて世界中に発信できるようにして世界に発信できるような施設を目指す」ことを明記している。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

今後、民間事業者を公募し、審査・評価を行っていく段階で、施設の機能が県議会や県民に説明できるものになっているか確認する作業を行う中で、県に費用負担について理解を深めてもらう。そして、令和3年度に県市ともに予算計上できるように取り組む。

黒い雨降雨地域の早期拡大を

問 黒い雨降雨地域の早期拡大に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 本市としては、一刻も早く「黒い雨降雨地域」の拡大を実現する必要があると考えており、控訴審の対応とは切り離して、国に対し最新の科学技術を用いた検証を早急に進めることを求めるとともに、科学的知見を超えた、被爆者援護の立場に立った政治判断を優先するよう、引き続き強く求めていく。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

避難所運営ボランティアは無保険

問 避難所運営ボランティアがけがをしたとき、市はどのように対応するのか。

答 今後、早急に対応策の検討を進めるが、新たな対応策を講じるまでの間については、保険適用のない現在の状況が続くことになってしまう。従って、活動されている自主防災組織の皆様には、状況をお伝えした上で協力をお願いしたいと考えている。

問 湯来地区での風力発電は不要

湯来地区での風力発電は不要

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

問 湯来町多田、安芸太田町、廿日市市吉和で高さ150mの風車36基になる国内最大級電力の開発が進み、環境影響評価の続き中である。手続き中の風力発電事業が中止されたことはないと聞くが、どのような時中止できるのか。

答 昨年度から、両大学と連携して運営体制などについて協議を進めている。また、広島ならではの共同研究の実施など、新たな取り組みについても調整を行っているところである。平和に関する教育研究と情報発信を通じてヒロシマの心や平和への願いを世界中に広げる新たな拠点となるよう、引き続き関係機関と連携し、保存・活用の具体化に向けて取り組んでいく。

「黒い雨」控訴取り下げを！

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

国に対し「黒い雨降雨地域」の拡大も視野に入れた検証を早急に実施し今年度内には方向性を示すよう要請している。

問 勝訴判決を受けた、80歳90歳を超えた「黒い雨」訴訟の原告らに対して「もつと頑張れ」と言うことは、命懸けで頑張ってきた原告らに対してあまりにも冷たい仕打ちではないか。今からでも控訴を取り下げ、速やかに被爆者健康手帳を交付するべきだがどうか。

答 控訴を取り下げ、判決が確定したとしても、国が被爆者健康手帳交付に関する法令等を改正しない限り、裁判に参加しなかった黒い雨体験者に手帳を交付する仕組みにはならない。

学校給食に有機農産物を

問 有機農業を推進し、学校給食に有機農産物を積極的に活用すべきと考えるがどうか。

答 有機農業は、病害虫による品質や収量の低下が起りやすく、生産コストも大幅に増加するなどさまざまな課題がある。学校給食は、一定の食材費の下で、日々大量の野菜や果物を安定的に確保する必要があるため、現在の我が国における有機農産物の供給量やそのコストなどを踏まえると、学校給食で有機農産物を積極的に活用することは困難である。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。

答 J R安芸矢口駅は、芸備線の中で最も利用者が多く、通勤通学時間帯の送迎車やバス、バイク、自転車、歩行者などを円滑に処理する必要がある。広場のレイアウト等の概略検討を進めている。来年度、交通事業者等と協議を行うなど、検討を深めていきたい。

問 安芸矢口駅前には送迎車や自転車、歩行者など交通量が非常に多い。駅前をロータリー整備することが必要だが、その検討状況はどうか。